とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）北海道足寄町　とかち新聞社　電話5－2551番
毎旬5の日発行　1カ月200円　1カ年前納の場合2、000円

開拓根性で三十年

足寄開拓農協の記念式

足寄町開拓農業協同組合（遠山謙組合長）では、十日午前十一時から雨天のため同組合倉庫を会場にして来賓、組合員など約五百名があつまって組合創立三十年記念式をおこないました

はじめに国旗掲揚、君が代斉唱、物故者に対する黙禱があつて、遠山組合長から昭和二十二年十一月十九日、農協法が形成され、翌年七月に当組合は旧西足寄村開拓農業協同組合として発足し、組合長に故加藤熊次郎氏、専務理事に大滝弥助氏で、その後幾多の変遷があつて記念すべき三十年を迎えこんにち畜産、酪農の販売二十五億円、購売十三億円の事業をみるに至ったわれわれが道のない原始林のなかで耐えてきた開拓のパイロットとして農業の改革に向いたいので各位のご協力とご支援をお願いいたしたいと述べ、つづいて組合創立功労者として故加藤熊次郎氏と大滝弥助氏に感謝状の贈呈があつてから、北海道畜産協同組合連合会から組合に対する表彰状の伝達があり、ついで来賓祝辞に入りました。

地部長から私自身も昭和二十四年から三十年まで十勝支庁の拓殖課で本日この会場にお見えになつている方々開拓農協を直接担当したものでーとして支庁長の祝辞を代読

小林町長から

顧みますと組合員の方々は、敗戦の混乱のなかわが国の食糧増産のため戦後開拓のため町に入殖されて、自然、経済条件などあらゆる困難を克服しつつあるわれわれは、本町農業の大型営農、畜産、酪農の基地としての地位を確立して基幹産業の発展に寄与されたことは、遠山組合長をはじめみなさまの団結と努力の賜物であると深く敬意を表する次第であります、本日の三十周年記念式にさいしこんにちまでの不とうな精神をとらえこんご一層のご協力をお願いいたしたいと述べ、つづいて組合創立功労者として故加藤熊次郎氏と大滝弥助氏に感謝状の贈呈があつてから、北海道畜産協同組合連合会から組合に対する表彰状の伝達があり、ついで来賓祝辞に入りました。

地部長から私自身も昭和二十四年から三十年まで十勝支庁の拓殖課で本日この会場にお見えになつている方々開拓農協を直接担当したものでーとして支庁長の祝辞を代読

小林町長から

顧みますと組合員の方々は、敗戦の混乱のなかわが国の食糧増産のため戦後開拓のため町に入殖されて、自然、経済条件などあらゆる困難を克服しつつあるわれわれが道のない原始林のなかで耐えてきた開拓のパイロットとして農業の改革に向いたいので各位のご協力とご支援をお願いいたしたいと述べ、つづいて組合創立功労者として故加藤熊次郎氏と大滝弥助氏に感謝状の贈呈があつてから、北海道畜産協同組合連合会から組合に対する表彰状の伝達があり、ついで来賓祝辞に入りました。

十勝支庁長代理の池田耕地部長から